

OLC+ オアシスライフ・ケア

私たちは、2011年3月11日の東日本大震災を機に

オアシスチャペル利府キリスト教会によって設立された非営利のボランティアグループです。

※法人設立準備中

目次

挨拶

松田牧人 代表(オアシスチャペル利府キリスト教会・牧師)からの挨拶です。

ページ 1

活動報告

私たちがこれまでにやってきた様々な活動を紹介します。

ページ 2-3



団体情報

スタッフや協力団体の紹介、また支援のお願いについて記しました。

ページ 4



挨拶

使命を握り直して…

無我夢中で1年以上走って来ましたが、一度立ち止まり、これまでの歩みや現状を分析し、長期計画を立て始めています。震災関連の書籍を何冊も手にとって読む中で、『震災トラウマと復興ストレス』（宮地尚子著／岩沼ブックレット）という本が目が止まりました。ここにその内容を詳細に書き記すことはできませんが、著者は、犠牲者、被災者、支援者、傍観者の互いの関係、時間の推移と共に起こる生活や心の移り変わりなどをうまく言い表しています。みなさんにもぜひお勧めしたい内容です。

先日は、ほや・ホタテの養殖復興支援を行っている一般社団法人 海友支援隊のみなさんと会合を持ちました。食事をしながら互いにこれまでの協力に感謝し合い、今後の支援活動について様々な視点から熱く語り合いました。ひとくちに被災地、被災者といっても、それぞれの置かれている状況や抱えているニーズは多



神は、みこころのままに、あなたがたのうちに働いて志を立てさせ、事を行わせてくださるのです。

ピリピ人への手紙 2章13節

様化の一途をたどっています。マスコミに取り上げられる頻度も少なくなり、国内外において被災地への関心が薄らいでいっています。それも踏まえつつ私たちは「あなたはひとりじゃない」「決して忘れていない!」というメッセージを届けることが今こそ重要だと確認しました。これからは、いや、これから“こそ”が勝負です。

私たちは今、偶然存在しているのではなく、神に生かされている…。私たちは心からそう信じています。この命をただ時の流れのままに消費するのではなく、与えられた使命のために用いたいと願っています。

オアシスライフ・ケアの使命は「あなたはひとりじゃない!」というメッセージをこの時代と地域とに届けていくことです。不器用で、不慣れで、失敗もありますが、私たちはこれからもこの使命に励みます。これまでのご支援に心から感謝いたします。これからも応援をよろしくお願いいたします。

オアシスライフ・ケア代表 松田牧人



活動報告

2011年10月～2012年5月

活動の背後にある“祈り”



東日本大震災から一年が経った3月11日、韓国・ハレルヤ教会で「3.11 絆 in Seoul」という大会が開かれました。この大会は

「震災からの一年を振り返り、復興を祈る」ことを目的に開催され、スタッフ菊地がゲストスピーカーとして参加し、自身の被災体験やオアシスライフ・ケアの活動についてお話ししてきました。大会に来場した約800名の方々は、私の話に真剣に耳を傾け、被災地のために熱い祈りをささげてくださいました。

韓国では震災の情報が

ほとんど流れていません。にもかかわらず、会場に来た多くの方々が今なお熱心に東北のために祈ってくれていることが分かりました。会う人会う人が「まだ」一年ですよ。これからも祈り続けます」と被災地のことを理解し、励ましの言葉をかけてくれました。日本のために熱心に祈る韓国の方々を見て、これまでの私たちの活動の背後に、世界中の人たちの祈りがあったのだと改めて思われました。熱心に祈り、サポートして下さる方々への感謝を心に留めながら、今後とも活動を続けていきます。



“支援の心”にこぼれる涙

私たちが取り組んできたことの一つに「被災地の情報・声を発信すること」があります。Webサイトや活動レポートなどを用いながら、国内外を問わず、できるだけ多くの人々に被災地の実情や支援活動の様子についてお伝えしてきました。これまでに、海を越えて遠く海外からもたくさんの方々が、被災地を覚えて祈り、また資金的な援助を送ってくださいました。中には私たちと協力している「海友支援隊さん」(宮城県石巻市の養殖業復興を目指す団体)まで支援金を送ってくださった方もいました。オアシスライフ・ケアで制作したドキュメンタリーを見て、被災養殖業の厳しい現実と復興への情熱に心を動かされたそうです。

海友支援隊の皆さんは、たとえ一口でも支援金が送られてくると本当に感動すると仰っていました。「朝、出勤してポストに支援金が入った封筒が送られてきているのを見ると、それを手に取ってスタッフと涙を流してしまうんです。そこには支援金の額以上にメッセージが込められているんですよ」

先日は、スタッフ菊地の知人でスイス在住のMさんと一緒に海友支援隊さんの事務所を訪問してきました。Mさんが今までは郵送で送っていた支援金を、応援のメッセージもお伝えしながら手渡すと、海友支援隊の皆さんはとても喜んでいました。“支援の心”が、人々に前に進む力や励ましを与えてくれます。



ニュース

当団体の母体であるオアシスチャペルが運営する「森郷キャンプ場」(利府町)には現在、キリスト教主義の国際的な支援団体「サマリタンズ パース」(SP)さんがベースキャンプを設置しています。約70名体制で被災地における家屋修繕プログラムを推進しており、当団体のスタッフ三浦が受け入れのお手伝いをさせていただきます。OLCと合わせてSPさんの働きもおぼえ、お祈りいただけましたら感謝です。



「ゴスペルお茶っこ会」開催！

江古田ゴスペルクワイアさん(東京都練馬区)の協力のもと、「ゴスペルお茶っこ会(お茶っこ=東北弁で、気軽に茶を飲み語り合うという意味)」を開催しました。所属するメンバー7名が、仕事の合間をぬったり、春休みを利用したりして東京から駆けつけてくださいました。「SHIZU革のPRに協力したい。製作されている方々の気持ちや現状も製品と一緒に伝えたい。そのためにも志津川の方々と会って話がしたい!」との希望からです。歌声と共にクワイアの方々のそうした気持ちも伝わったのか、志津川の方々とは初対面であったにもかかわらず、お互いに打ち解け合って、終始、

話し声や笑い声が絶えない賑やかな「お茶っこ会」となりました。クワイアの方々は、練馬区江古田で行われる地区のイベントを皮切りにSHIZU革のPRを展開していただきます。製品に志津川の方々の”志”を添えて！志津川の方々、ボランティアの方々、オアシスライフ・ケア、今後もそれぞれが主体者となって、SHIZU革とその”志”を伝え続けていきます！



志津川からSHIZU革を！

昨年の12月からSHIZU革の販売をスタートし、これまで約4ヶ月間、様々な方々のご協力をいただきながら販売を進めてきました。主に「委託販売」という形で、各地のキリスト教会を中心に、ジュエリー店や復興市、震災関連のシンポジウムなど、様々な場所で販売させていただいています。



5月1日からは、大手百貨店「東急ハンズ」さん(池袋店限定)での販売もスタートしました。販売場所が徐々に広がり、東北から沖縄、そして、海外の方々の手にまでSHIZU革製品をお渡しできることを嬉しく思っています。志津川の制作者の皆さんも、ゼロから始めた働きが徐々に広がっていることを大変喜んでいきます。「被災地の方々に“現金収入”と“日々の生き甲斐”をお届けしたい!」という主旨を理解し、サポートして下さる皆さんに心から感謝いたします。

CRASH Japanさんが、SHIZU革プロジェクトをサポートしてくださっています。事務所兼工房の費用の補助や、作業のためのボランティアを派遣してくださっています。本当に感謝です。これからも全国の皆さんのお力を借りて、ご一緒にこのプロジェクトを進めていきたいと考えています!「委託販売」「ボランティア作業」「購入」「宣伝」、皆さんの状況に合った参加の仕方が可能です。協力者を随時募集しておりますので、少しでも興味がある方は、ぜひご連絡ください。



東急ハンズ(池袋店)でSHIZU革の販売スタート!!

- 委託販売を検討して下さる方、
 - 10個以上の買い取りを検討して下さる方は、
- ぜひこちらまでご連絡ください!! →



Tel 022-356-9443

Mail support@shizugawa.jp

ご協力のお願い

オアシスライフ・ケアの働きは、多くの方々のご支援、ご協力によって成り立っています。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。今後も長く、効果的に働きを続けていきたいと考えています。引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

2011年3月11日～2012年3月31日までの収支報告

収入

| | |
|-------------|---------------------|
| 献金/支援金 | 16,777,988 |
| SHIZU革 売上 | 1,874,500 |
| 預金利息 | 208 |
| 収入合計 | ¥ 18,652,696 |

支出

| | |
|-----------------|---------------------|
| 人件費 | 3,245,000 |
| 事務費 | 356,672 |
| 支援活動費 | 6,626,961 |
| SHIZU革 製作者へのお手当 | 991,500 |
| SHIZU革 材料・諸経費 | 3,598,597 |
| 支出合計 | ¥ 14,818,730 |

| | |
|-------------------|--------------------|
| 2012年度への繰越 | ¥ 3,833,966 |
|-------------------|--------------------|

支援金窓口

《三菱東京UFJ銀行》

支店名：仙台支店 口座番号：普通 0242364
口座名：オアシスライフ・ケア 代表 松田牧人

《ゆうちょ銀行》

- ・他金融機関より
店名：八一八（読み ハチイチハチ）
口座番号：普通 4130375
口座名：オアシスライフ・ケア
- ・ゆうちょ銀行より
記号：18110 番号：41303751
口座名：オアシスライフ・ケア

※定期的に発行しているニュースレターをご所望の方は、お手数ですが当方までご連絡ください。

関連情報

スタッフ

代表：松田牧人（オアシスチャペル利府キリスト教会・牧師）
スタッフ：郡山英明（専任・会計担当）
スタッフ：國分圭介（専任・SHIZU革担当）
スタッフ：菊地祥彦（広報担当）
スタッフ：松田 献（ゴスペル担当）
スタッフ：三浦良太（サマリタンズ パースに出向中）

連絡先

事務所：〒981-0104 宮城県宮城郡利府町中央2-5-1
(利府キリスト教会内)

TEL & FAX：022-356-2494 (利府キリスト教会)

※SHIZU革に関するお問い合わせは **022-356-9443** へ

E-mail：info@oasislifecare.org

Webサイト

Webページ：<http://oasislifecare.org>

Facebookページ：<http://www.facebook.com/OasisLifeCARE>

Twitter：<http://twitter.com/#!/OasisLifeCARE>

賛同者

尾山清仁・キャシー（聖書キリスト教会東京教会・牧師）
加賀洋子（ASKアカデミー・ジャパン株式会社 CEO）
葛西浩二（有限会社テレビジョンワークス・代表取締役）
Kaz Kato（ミュージシャン）
郡山榮次郎（心療内科医）
後藤献児朗（有限会社サーブ介護センター 代表取締役）
篠田真宏（ゴールデンルールリミテッド・代表）
ジェイソン・エワート（作家・Australian of the Year nominee 2007）
中村佐知（翻訳者/心理学者〈Ph.D.〉/JCFN理事）
日野 哲（東北学院大学・総務部長）
広崎仁一（ヒューサーブ代表）
藤掛 明（聖学院大学総合研究所・准教授/臨床心理士）
藤原淳賀（聖学院大学総合研究所・教授/恵約宣教教会・牧師）
松田和憲（関東学院大学工学部・教授/関東学院教会・牧師）
渡邊忠雄（元 東北大学大学院工学研究科・教授/
中国<瀋陽> 東北大学・客員教授）

協力団体

一般社団法人 海友支援隊 <http://www.kinka-hoya.com>
一般社団法人 CRASH Japan <http://www.crashjapan.com>
一般社団法人 サマリタンズパース <http://www.samaritanspurse.jp>
NPO法人 スマイル合唱団 <http://smile-chorus-npo.org>
宗教法人 日本バプテスト同盟 <http://www.jbu.or.jp>
聖書キリスト教会東京教会 <http://seishokirisuto.com>
Bridges For Peace JAPAN <http://www.bfpj.org>

※50音順/敬称略/2012年5月29日現在